

モデル経営体名：佐藤 勇介 （所沢市）

展開：露地野菜の産地の強化に係る展開

経営概要 15ha（えだまめ5ha、ネギ3ha、さつまいも3.5ha、にんじん2ha、その他1ha）  
うち実証面積 えだまめ5ha

導入技術 枝豆精選別機・(株)ガオチャオエンジニアリング・PITA-EDS-mini01



### 実証の状況

①実証の目的：AIや画像処理技術を内蔵した枝豆精選別機の導入による、作業時間や作業人員の削減効果を実証するとともに、栽培面積や生産量の拡大を目指す。

②実証状況：調製作業調査や聞き取り調査の結果、1人あたりの作業能率が4.8倍に増加し、調製作業人数が3人から1人に削減できるなど、機械導入による大きな成果が得られた。

また8月2日に枝豆生産者、JAいるま野、関係機関を対象に実演会を行い、機械の特徴や稼働状況、機械を使ってみての感想等を直接に見聞きしてもらうことで、精選別機の利点を深く理解してもらうことができた。

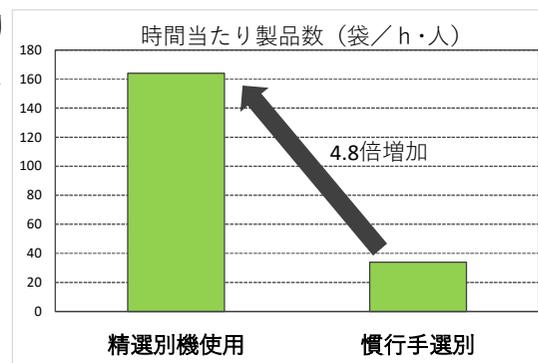


図1 精選別機による作業能率向上

図2 実演会 (R4.08.02)

③モデル経営体の感想：枝豆選別作業人数を3人から1人に削減できたことで、残った2人をネギの調製など他の作業にまわすことができ、経営全体として規模拡大や生産量増加につながり収益が向上した。機械の調整はメーカーが遠隔で行うので、手間がかからず使い勝手が良い。